

令和6年度 第3回 二宮町地域公共交通活性化協議会議事要旨

開催日時	令和7年1月23日（木）10:00～11:25	
開催場所	二宮町役場 2階 第1会議室	
出席者	委員	出席者18名（うち代理出席2名）、欠席2名
	その他	傍聴者1名
	事務局	政策部企画政策課3名
会議次第	1. 開会 2. 議題 （1）令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について （2）にの♥バスの利用促進策と今後の検討について （3）令和6年度 歳入歳出補正予算（案）について （4）令和7年度 歳入歳出予算（案）について （5）その他 3. 閉会	

協議会委員出席名簿

No	氏名	所属団体	出欠	備考
1	志賀 道郎	二宮町政策部	○	副会長
2	橋山 英人	神奈川中央交通	○	
3	小嶋 光行	神奈中タクシー	○	代理
4	小堤 健司	一般社団法人神奈川県バス協会	○	
5	林 好治	一般社団法人神奈川県タクシー協会	×	
6	井手下 禮志	二宮町地区長連絡協議会	○	監事
7	西山 一雄	二宮町ゆめクラブ連合会	○	
8	秋山 周一郎	二宮町PTA連絡協議会	×	
9	水谷 淳子	一般公募	○	
10	吉田 美紀	一般公募	○	
11	森下 文章	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局	○	
12	石井 忠孝	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会	○	
13	吉岡 敦	神奈川県平塚土木事務所	○	
14	中津川 宗尉	神奈川県県土整備局	○	監事
15	宮嶋 智也	二宮町都市部	○	
16	野田 繁夫	神奈川県大磯警察署	○	
17	吉田 忠司	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社	○	代理
18	梶田 佳孝	東海大学建築都市学部土木工学科	○	会長
19	松本 幸生	二宮町健康福祉部	○	
20	小島 隆	二宮町社会福祉協議会	○	

議事概要

1. 開会

2. 議題

◎は会長、○は委員、●は事務局の発言

・議題（１）令和６年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

○ 事業実施の適切性について、保育園児の絵を計画期間内に掲載できなかったためＢ評価にされています。しかし、令和５年１０月から令和６年９月の計画期間には間に合わなかったが、応募はあったので、取り組みは推進している旨を記載した方がよいのではないのでしょうか。

◎ 計画期間中は掲載ができなかったのでしょうか。

● 実際は、９月３０日から掲載しているので、計画期間中から掲載しています。

◎ それでは、先ほどの意見や実態を踏まえ、評価をＡとしてもよいのではないのでしょうか。

○ 応募があつて掲示もされているのであれば、Ａとしても支障はないと思います。

● 評価をＡに修正させていただきます。

○ 資料１の「目標を達成するために行う事業の今年度実施状況」について、「非課税世帯で歩行が困難な６５歳以上の方まで・・・」と記載していますが、何が非課税となれば対象になるのでしょうか。

○ 福祉の施策として住民税の非課税世帯を対象に、令和６年度から試行的に実施しています。

○ 住民税が非課税の世帯と分かる書き方にすべきだと思います。

● ご指摘いただいたとおり資料に文言を追加します。

○ 参考資料に補助対象事業の実績データがありますが、表にある数値の単位が一目でわからないので、単位を追加した方がよいと思います。

● ご指摘いただいたとおり、数値に単位を追加します。

○ ７月から９月まで小人運賃の無料化を実施し、利用者数は伸びたものの一定の時間帯に利用者が集中して乗り切れないことがあったとのことですが、どのような状況だったのでしょうか。また、乗降者が多かったバス停など、実際にどの程度の方がどのような目的で利用されたのでしょうか。

● 小人運賃の無料化は、温水プールの廃止により、夏季期間中に山西プールを利用しやすいように７月１日から９月３０日まで実施したものです。

今回、期間中の小人の利用者数は１,３１７名、前年度の同期間が１０９名であったことから、１,２０８名の増と大幅に増加しています。朝便で登校しようとした二宮西中学校の大勢の生徒が団地中央で乗車しようとしたしましたが、定員の関係で乗りきれなかったことがあったと神奈川中央交通から報告がありました。夏休み期間中を除いた、小人の利用目的は登校がほとんどで、利用しているバス停も学校近くの川勾神社入口と密厳院北が大きく増加しています。

○ 先ほど事務局から話のあった乗車をお断りした件について、無料だからということで、学区内の中学生が通学に利用されたのだと思いますが、今回は、途中のバス停を利用する一般の方から苦情等はありませんでした。ただ、学期中に無料化をしてしまうと、これからも同様の事態が発生する可能性を考慮しなければいけないと思います。

◎ コロナ禍から低迷していた小人の利用者が増えたことは喜ばしいことですが、今後の実施

にあたっては無料期間の設定をどうすべきかなどを考える必要があると思います。

- ◎ 参考資料の「町内公共交通体系図・補助対象事業の運行系統図」に交通不便地域エリアを示すことで、町の状況が分かりやすくなると思います。

・議題（２）にの♥バスの利用促進策と今後の検討について

- 妊産婦に向けた周知について、チラシの中には利用方法に関する情報がないので、例えば、保健センターやラディアン、子育てサロンなどに行く際はどのバス停が最寄りかといった内容を追加するとよいと思います。
- 利用促進の観点から、ルートのご提案等も含めてチラシの内容を再検討させていただきます。
- 町としては、どの時間帯の乗車人数を増やしたいと思っているのでしょうか。
- 小人運賃を無料としていた期間は朝便の利用者は多かったのですが、その期間以外は朝・夕便の利用者が非常に少ないので、この時間帯の利用者数を増やしたいと思っています。
- 公共交通の乗り支えとして、町も公共交通の利用を周知していると思いますが、町民としては乗った結果、本数が増えるのかが気になるはずなので、どこを目指してどの程度達成すれば本数を増やすことができるかという目安が見えるようになると思います。
- 現時点で、増便等については検討していないのですが、ラディアン横に新庁舎の建設を予定していますので、町内どこからでもアクセスしやすいよう、本協議会にも諮りながらルートやダイヤの改編を検討させていただきたいと思っています。
- 通いの場での無料券配布時に「どうすれば、にの♥バスを利用したいと思うか」「何に不便を感じているか」などを聞ければ、より町民の声を反映できると思います。
- 通いの場においては、今も口頭でコミュニティバスを利用したことがあるか確認をしていますが、地区によって利用率にばらつきがあるので、今後は、普段利用しない方に対してどうすれば乗ろうと思えるかなどを聞くようにしたいと思っています。
- 動画については、学校の副読本として子どもが見るのであれば、もっと動画時間を短くし、ルートを回る映像よりも乗り方や降り方、乗車マナーなどを紹介した方がよいと思います。また、ルートを走っている動画にするのであれば、すでに利用している方向けに普段利用しているバス停以外でどのようなことに利用できるか分かるような内容にして、バスの中で放映すれば更なる利用促進になるのではないのでしょうか。
- 動画については、乗り方やコース紹介など、それぞれのテーマで分割して動画を作成すれば、再生回数などで利用者が興味を持っていることを可視化できるのではないのでしょうか。
- 動画については、ご指摘いただいた内容を参考にさせていただきながら、動画時間も含めて再度検討したいと思います。
- 町広報紙による周知について、広報の時期は7月号として、交通系 IC カードが利用できることも改めて紹介しながら周知を実施することがよいと思います。
- ご指摘いただいたとおり、交通系 IC カードにも触れた内容で、7月号に特集記事を掲載するように調整します。
- 運転免許証返納者への支援について、返納者は返納した年だけが困るわけではないので、単年度だけでなく継続した支援を検討してください。また、にの♥バスの1日乗車券の導入も併せて検討してください。
- 運転免許証返納者への支援は、もともと免許証を所有していない方との不公平感が生じないようにも注意しながら、他の自治体の事例も研究するなどし、導入可能な支援策を検討し

ます。また、1日乗車券については、4月から観光協会が法人化するので、観光分野との連携も含めて導入の研究をしたいと思います。

- 交通系 IC カードの関係で補足させていただきます。以前より懸念点として挙げていた、中学生が IC を利用する際に、そのままタッチをすると大人運賃で引いてしまう課題について、必ず乗務員に声をかけたうえで利用していただく運用としていますが、周知の効果もあって現時点で誤って引いてしまった事例は報告されていません。また、交通系 IC カードの利用率については、11 月は約 12%、12 月は約 28%と利用率は増加しており、今後も一定程度までは上がると見込んでいます。
- 妊産婦に配布している無料券は、本人のみしか利用できないのでしょうか。
- 特に限定はしていないため、家族などの利用も可能です。
- 転倒などの危険もあることから、妊娠 8 か月の方は公共交通の利用を控えていることもあると思うので、例えばパートナーの通勤にバスを利用してもらうなど、本人に限らない利用方法も案内するとよいと思います。
- への♥バスの利用促進策について、これまでの利用者数の推移を示すことで議論が深まり、利用促進策の改善などの判断材料にできると思います。
- 年度間で利用者数を比較できるデータとあわせて、利用促進策の取り組み効果が分かる資料にしたいと思います。

・議題（3）令和 6 年度 歳入歳出補正予算（案）について
意見なし

・議題（4）令和 7 年度 歳入歳出予算（案）について

- 歳出科目に補助金がありますが、ここに国庫補助金の記載があるのは違和感があります。補助金として歳入したものを、運行事業者に支出する際に別の性質になるのであれば、科目名は変えるべきだと思います。または、補助金として支出するのであれば、説明欄は運行事業者に対する補助などといった記載になると思います。
- 説明欄への記載を運行事業者への補助金とさせていただきます。

・議題（5）その他

- すでにホームページ上で公表しているところですが、神奈川中央交通より 2 点、制度変更についてご案内します。

1 点目は、69 歳以上の方を対象として販売している「かなちゃん手形」については、3 月 10 日から IC 化によりフリーパスとして利用できるように制度を変更します。販売価格は 3 ヶ月券を 15,000 円、6 ヶ月券を 28,500 円、1 年券を 54,000 円とします。現行の紙製手形の販売は今年の 6 月までとなります。なお、2026 年を目安にスマートフォンアプリでの販売も予定しています。

2 点目は、定期券を所有されている方の同伴者が 1 乗車 100 円で利用できる環境定期券制度について、一定の役割を果たしたことから今年の 3 月 31 日をもって廃止します。

3. 閉会

以上